

令和元年度 決算報告

町の1年間の予算がどのように使われたのか、その収入（歳入）と支出（歳出）の内容を明らかにしたものが決算です。令和元年度の一般会計及び特別会計の決算が、9月に開催された町議会定例会において認定されました。今月号では、決算の公表とともに、納められた税金がどのように使われ、どのような財政状況なのか、財政指標とあわせてお知らせします。



学校給食費補助事業
1,480万8千円



清里町洪水ハザードマップ作成
業務委託事業 613万8千円



清里中学校冷房設備設置工事
2,397万6千円

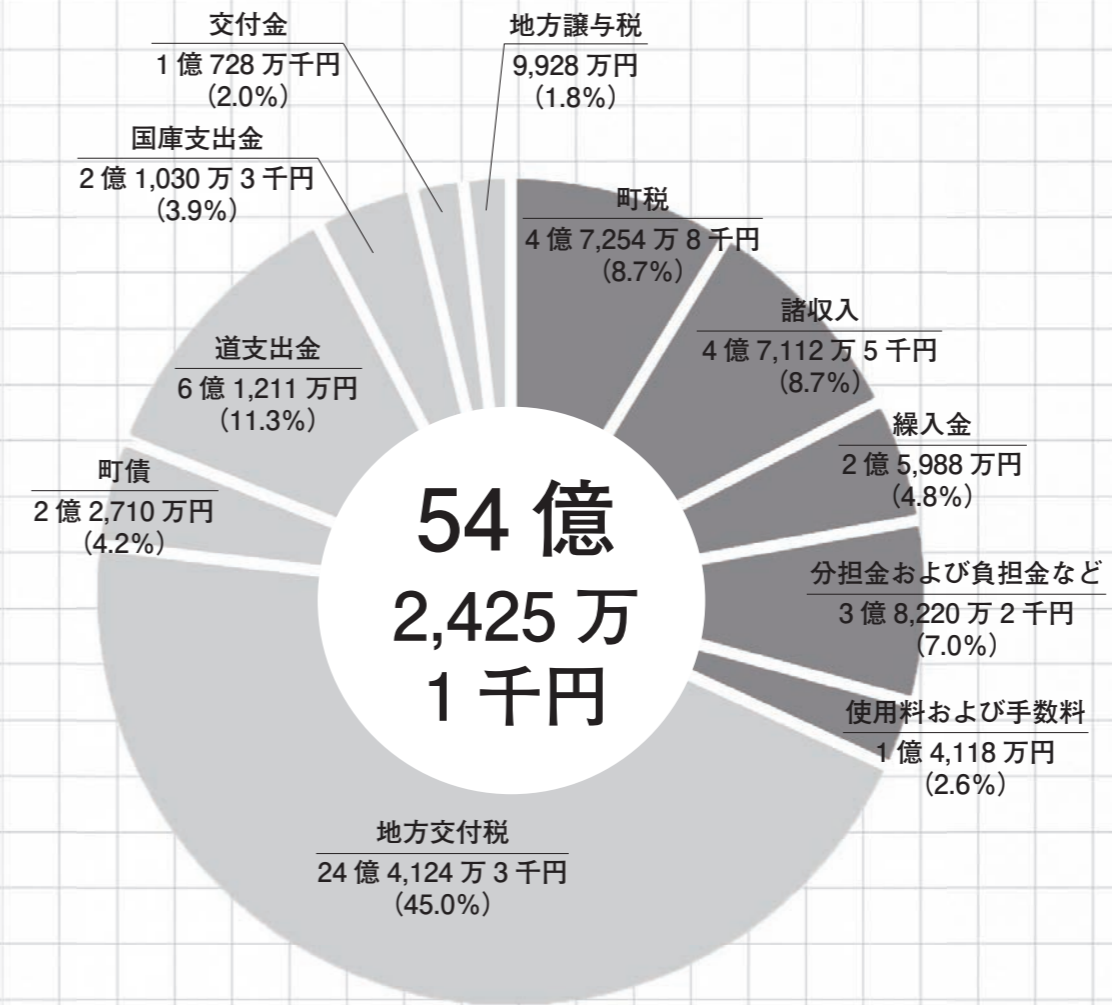
令和元年度の主な事業

一般会計

歳入

歳入総額は、前年度と比べて1億6050万5千円減少しました。減少となった要因として、町が国や金融機関から借り入れる町債が、ケアハウス整備事業の完了に伴い、前年度より4億8420万円減少しました。国から交付される地方交付税は、5561万5千円増加しています。

歳入の内訳（左の円グラフ）を見ると、町税や使用料など、町が独自に確保している自主財源の割合が31.8%、地方交付税や国・道交付金などの依存財源の割合が68.2%となりました。



特別会計

特別会計は、特定の事業を行うために一般会計と区分する必要がある場合に設けられる会計です。清里町では、清里焼酎の製造および販売を行うための焼酎事業特別会計など6つの特別会計があります。

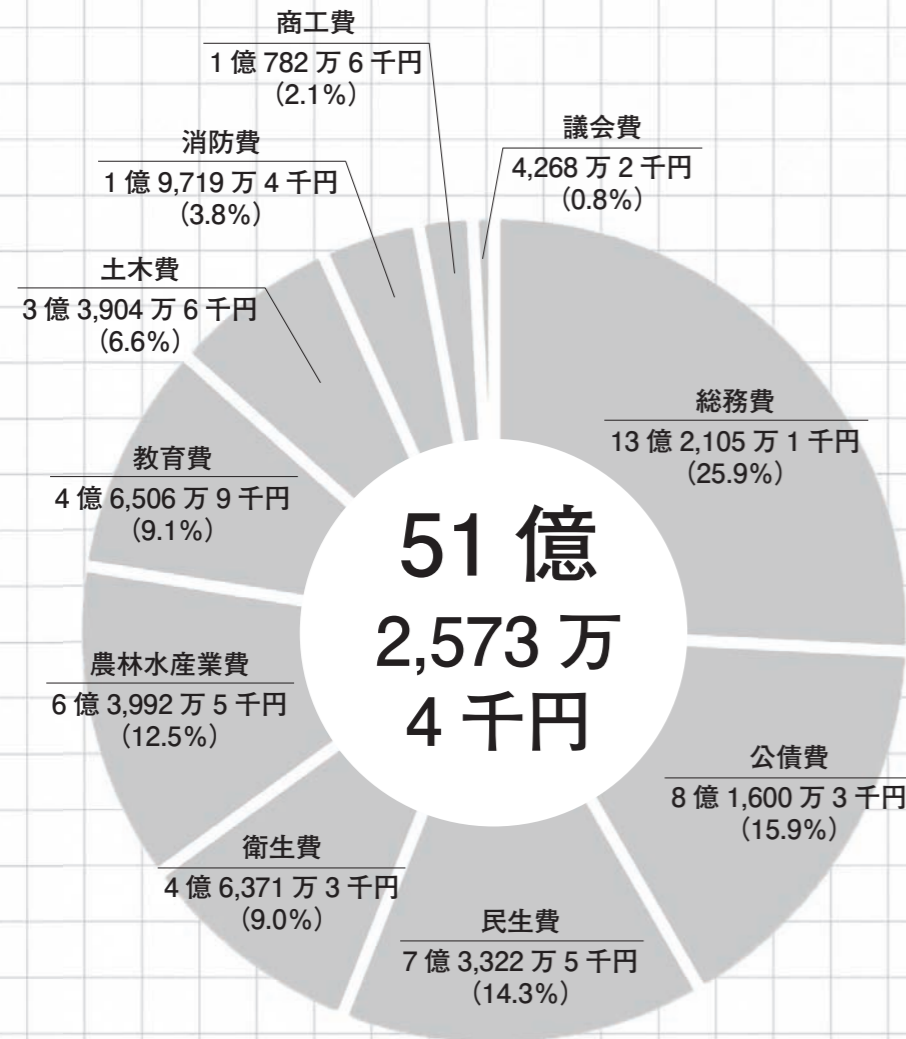
区分	歳入	歳出
介護保険事業特別会計	4億7,018万9千円	4億3,734万7千円
国民健康保険事業特別会計	6億8,550万3千円	6億7,211万1千円
後期高齢者医療特別会計	7,142万6千円	7,131万4千円
簡易水道事業特別会計	6,575万7千円	5,890万4千円
農業集落排水事業特別会計	1億2,421万2千円	1億1,761万円
焼酎事業特別会計	1億2,105万4千円	1億2,030万2千円

一般会計

歳出

歳出総額は51億2,573万4千円で、前年度より1億410万3千円減少しました。

目的別で見た内訳（左の円グラフ）は、総務費が最も多く、歳出の約4分の1を占める13億2,105万1千円でした。また、農林水産業費は、地域の営農戦略に基づき行う産地の高収益化に向けた取組みを支援する、産地パワーアップ事業補助金の交付などにより、前年度と比べて2億5,247万7千円の増加となりました。



健全化判断比率

「財政健全化比率等」が法律で定められた基準値を上回ると、国の指導・監督の下で、財政の再建を行うこととなり、厳しい財政運営をしなければなりません。

清里町の令和元年度決算に基づく数値は、いずれも基準値以下であることから問題はありませんが、健全財政維持のため、引き続き限られた財源を有効に活用していく必要があります。

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
清里町	-	-	9.5%	-
早期健全化基準	15.0%	20.0%	25.0%	350.0%
再生基準	20.0%	30.0%	35.0%	基準なし
特別会計	資金不足比率	経営健全化基準		
簡易水道事業特別会計	-	20.0%		
農業集落排水事業特別会計	-	20.0%		